

第12回 年次大会のご案内

西田哲学会 会員各位

拝啓

初夏の候 会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、第12回年次大会を下記の要領で開催いたします。万障お繰り合わせの上、ふるってご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

なお恐れ入りますが、同封の葉書にて出欠その他に関する事柄を明記の上、7月1日(火)までに、事務局宛てにお送り下さい。

敬具

記

日時 平成 26 年 7 月 19 日(土)～21 日(月・祝) ※詳細は裏面の「プログラム」をご参照ください。

会場 石川県西田幾多郎記念哲学館 (〒929-1126 石川県かほく市内日角井1番地)

交通手段

会場となる西田哲学館は、金沢より20km 北の「かほく市」にあります。その位置および交通手段は、同封の「石川県西田幾多郎記念哲学館」のパンフレットをご参照ください。

なお、最寄り駅の宇野気駅から西田哲学館への交通手段は、徒歩(20分)かタクシー(5分)となります。開催期間の三日間は、下記のとおりの時間にて送迎バス(無料)を用意いたします。時間が合いましたら、ご利用ください(バス発着所は、西田幾多郎の銅像の立っている宇野気駅・正面東口となります。席に限りがありますので、満席の際はご容赦ください)。

自家用車でご来館の方は、西田哲学館の駐車場(無料)をご利用いただけます。

	宇野気駅発 ⇒ 哲学館着	哲学館発 ⇒ 宇野気駅着
19 日 (土)	09:15 → 09:20	17:20 → 17:25 17:35 → 17:40 17:50 → 17:55
	10:10 → 10:15	
	11:30 → 11:35	
	13:00 → 13:05	
20 日 (日)	09:10 → 09:15	
	09:25 → 09:30	
	11:30 → 11:35	
	13:00 → 13:05	
21 日 (月)	09:10 → 09:15	13:40 → 13:45
	09:25 → 09:30	13:55 → 14:00 14:10 → 14:15

発着時刻は、事情により前後することがあります。

宿泊

宿泊先は、会員の皆様ご自身で手配をお願いいたします。参考までに、かほく市内および金沢駅周辺のホテルを別紙に記載しましたので、よろしければご利用ください。

昼食

会場周辺には飲食店が少ないため、ご希望の方にはお昼の日替わり弁当(お茶付:800円)を用意させていただきます。ご希望の方は、同封葉書の所定欄に ○ をご記入ください(代金は当日支払)。

懇親会

懇親会の開催を、19日(土)18時から「さか井や」旅館(宇野気駅正面東口徒歩1分)の大広間にて予定しております。同封の葉書に参加・不参加をご記入ください(参加費:5,000円、当日支払)。

非会員の大会参加

例年通り、非会員も参加費500円にて年次大会に両日ともに参加することができます。会員の皆さまのお知り合いで興味のある方がいらっしゃいましたら、お誘いあわせのうえぜひおこしください。また、その際には下記事務局まで事前にお申し込みをお願いいたします(参加費は当日支払)。年次大会に参加され、興味をもたれた方には、入会のご案内をお渡しいたします。

理事会

理事各位におかれましては、初日19日(土)の12時45分より理事会を開きますので、ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

シンポジウム要旨

2日目のシンポジウム「西田幾多郎と鈴木大拙」の要旨を、西田哲学学会HP(www.nishida-philosophy.org)に、7月6日までに掲載しますので、ご覧ください。

以上

平成26年6月4日 西田哲学学会

西田哲学学会事務局(担当:大熊)
(石川県西田幾多郎記念哲学館内)
〒929-1126 石川県かほく市内日角井1
TEL:076(283)6600, FAX:076(283)6320
E-mail: info@nishida-philosophy.org
URL: www.nishida-philosophy.org

西田哲学会 第12回年次大会 プログラム

会場: 石川県西田幾多郎記念哲学館(石川県かほく市 内日角井1)

平成26年7月19日(土)

10:30-12:30

○『善の研究』講読(入門講座) [4F 会議室]

担当: 白井雅人(東洋大学)・中嶋優太(京都大学)

『善の研究』第2編、第1章・2章を読む

○外国語セッション [哲学ホール] 使用言語: 英語

司会: 林永強(東京大学)

1) アダム・ローナン Adam Loughnane (神戸大学)

Nishida and Merleau-Ponty: Artistic Expression as “Motor-Perceptual Faith”

2) ローラ・スペッカー・サリバン Laura Specker Sullivan (京都大学)

Nishida Kitarō's Ethical Standpoint: Indications from the Concept of Koiteki Chokkan

3) 朝倉友海 Asakura Tomomi (北海道教育大学)

The Onto-topo-logical Constitution of Metaphysics: Nishida Kitarō and Mou Zongsan

12:45-13:45 理事会 (役員のみ)

14:00-14:05 かほく市長挨拶

14:05-14:10 西田哲学会会長挨拶

14:10-17:10 講演会

司会: 岡田勝明(姫路獨協大学)

14:10-15:40 講演 I 田中久文(日本女子大学)

「日本思想史における西田哲学の意義 — 高橋・西田・田辺 — 」

15:40-17:10 講演 II 北野大雲(長岡禅塾) 「轉轉地 —— 禅と西田先生」

18:00-20:00 懇親会 [さか井や旅館]

平成26年7月20日(日)

9:35-12:35 研究発表 (二会場にて開催)

第一部会 [哲学ホール]

司会: 石井砂母垂(ルーテル学院大学)

1) 森野雄介(大阪大学) 『無の自覚的限定』における身体と衝動

司会: 竹花洋佑(大谷大学)

2) 濱田覚(京都大学) 「西田とシェリングの認識=存在論」

3) 服部圭祐(大阪大学) 「種の論理」と「間柄の倫理」の潜在的対立

司会: 田口茂(北海道大学)

4) 満原健(京都大学) 「純粹経験論はいかなる点で心理主義的か？」

5) 丹木博一(上智大学) 「表現」の否定的構造について — 「絶対矛盾的自己同一」における現象学的真理論

第二部会 [4F 会議室]

司会：杉本耕一（愛媛大学）

- 1) 喜多源典（関西大学）「西田哲学における「他者」と「超越」
- 2) 名和達宣（親鸞仏教センター）「西田哲学と親鸞教学—「逆対応」の可能性」

司会：上原麻有子（京都大学）

- 3) 鑄物美佳（ボルドー第三大学）「いかにして病と向き合うか、あるいは後期西田哲学にみるパトスのなものとの対峙」
- 4) ジャサント・トランブレイ Jacynthe Tremblay（北海道大学）「西田の彼自身の論理に関する散乱した言葉」

13:30-13:55 総会

14:00-17:00 シンポジウム「西田幾多郎と鈴木大拙」

司会：松丸壽雄（獨協大学）

- パネリスト：1) 大熊玄（西田幾多郎記念哲学館） 「「哲学者」としての鈴木大拙」
- 2) 森哲郎（京都産業大学） 「<場所と即非> — 「行の論理」として—」
- 3) 竹村牧男（東洋大学） 「西田と大拙の真宗理解をめぐって」

平成 26 年 7 月 21 日（月・祝）

国際哲学交流シンポジウム「世界-哲学」(Welt-Philosophie) [哲学ホール]

使用言語：英語・独語・日本語

司会・通訳：大橋良介（ドイツ・テュービンゲン大学）

09:35-11:35 発表

パネリスト：1) 斎藤多香子 Saito Takako (フランス国立東洋言語文明研究所)

“KUKI Shūzō’s Philosophy and the World”

「九鬼周造の思索と世界」

2) ニルス・ヴァイトマン Niels Weidtmann (ドイツ・テュービンゲン大学学術フォーラム)

“World and Experience. Some remarks on the philosophy of Nishida Kitarō and Heinrich Rombach.”

「経験の世界性。西田幾多郎とハインリヒ・ロムバッハの哲学への注、若干」

3) ジョン・マラルド John Maraldo (アメリカ・ノースフロリダ大学名誉教授)

“The Many Senses of the One World: Reflections on Nishida’s and Heidegger’s

Thought in the 1930s and the Environmental Crisis of Today.”

「ひとつの世界がもつ多くの意味。

1930年代の西田およびハイデガーの思想と今日の環境危機についての、考察」

11:35-12:00 休憩（軽食）

12:00-13:30 討議

(※なお、今回の年次大会は、石川県西田幾多郎記念哲学館の「2014 国際哲学交流シンポジウム」との共催事業となります)